

モリブデン MoO₃相場は3年ぶりの\$ 30超え

米市場の急騰で欧州・アジア市場との値差が広がる

ステンレスなど特殊鋼に用いられるモリブデンの国際相場が急騰している。三酸化モリブデン (MoO₃) のスポット価格は年初から23ドル/lb Mo台で推移していたが、1月末にアメリカのフェロモリブデン (FeMo) 生産者の事故報道でFeMo価格が急騰。上流のMoO₃も連れ高となり、2月に入ると25ドルを超え、さらに足元では25.95～35.00ドル (中値30.48ドル) と、23年3月以来の高値を付けている。価格レンジに10ドル近い開きがあるが、レアメタル専門商社・アドバンストマテリアルジャパンの松村 洋・合金鉄部長によると、「世界中でMoO₃価格が急騰したのではなく、アメリカ市場の取引価格が指標価格に織り込まれたことが要因」だという。ヨーロッパやアジアでは、足元の取引価格は25ドル台で推移している一方、アメリカではFeMo生産者が現在も稼働を停止していることから、需給ひっ迫が意識され、35ドル前後の高値で取引がされている。今後もアメリカ市場の価格が指標価格に反映される状況が続けば、短期的にはヨーロッパやアジアの価格も押し上げられ、さらなる高値で推移する可能性もある。